

第8章 国際展開

第8章 国際展開

第1節 国際展開に対する基本的考え方

当局では、これまで培ってきた技術・ノウハウや人材などを活用して、下水道施設が未整備、あるいは、整備されていても十分に機能が発揮されていない国や地域などの下水道施設の整備などを支援し、その発展に寄与するとともに、日本の下水道関連企業の海外展開を後押しすることで、東京ひいては日本における下水道事業の活性化と産業力の強化に貢献していくことを基本に、下水道事業における国際展開を推進していくこととしています。

国際展開を進めるにあたっては、下水道グローバルセンター（G C U S：日本の経験と技術で国際貢献をより一層推進していくため、日本の産学官を結集し、平成21年4月に日本下水道協会により設立された組織）や独立行政法人国際協力機構（J I C A）などの関係機関、下水道関連企業などとも連携・協力しつつ、当局の所管する監理団体である東京都下水道サービス株式会社（T G S）と、適切な役割分担の下、一体的に対応していきます。

第2節 具体的な取組

1 下水道事業全般にわたる支援

東京下水道の経験や技術・ノウハウなどを活用して、下水道施設の建設及び運営管理までを含んだ施設計画の提案や技術支援などを行うことで、相手国・地域の下水道事業全般にわたって支援するものです。

平成22年度は、マレーシア全域の下水道を再整備するためのマスタープラン策定等への協力を行いました。

2 個別技術の海外展開

現場の創意工夫から生まれ、高度な技術によって確立した個別技術の海外展開を推進するものです。

合流式下水道の改善を図る水面制御装置や老朽化した下水道管を更生するS P R工法等について、T G Sや特許等を共同保有する企業などと連携して、海外ニーズ等の情報収集に努めるとともに、当該技術を導入する可能性がある国や地域に対して海外展開を目指す企業を支援するなどの取組を行っています。

平成22年度は、水面制御装置の特許技術について、ドイツ及び韓国の企業と使用許諾契約を締結しました。

3 国際交流

当局においては、海外との技術交流の推進、地球環境保全対策の推進、国際会議への参画、都市提携交流事業の推進、国際機関などへの協力といった、都市交流を通じて世界への貢献を行っています。

当局が行っている国際交流は以下のとおりです。

(1) 姉妹・友好都市との交流

都は、昭和35年にニューヨーク市と姉妹都市提携を締結して以来、北京市、パリ市、ニューサウスウェールズ州、ソウル特別市、ジャカルタ特別市、サンパウロ州、カイロ県、モスクワ市、ベルリン市及びローマ市と友好都市提携を締結しました。

当局は、都の一員として姉妹・友好都市との交流に参加しています。

(2) アジア大都市ネットワーク21（ANMC21）への参加

アジア大都市ネットワーク21とは、石原知事のよびかけにより発足したもので、アジア地域の首都及び大都市が、新技術開発、環境対策、産業振興など共通の課題に取り組むため、共同して事業を推進し、その成果をアジア地域の繁栄と発展につなげていこうという、国際的ネットワークです。

平成13年10月、ANMC21の第1回本会議が開催され、当局は共同事業のひとつとして、「下水道維持管理技術者研修」を提案し、採択されました。

「下水道維持管理技術者研修」は、各都市の下水道維持管理技術者を対象に、省力的で効率的な維持管理技術の習得を目的としています。

平成14年度から毎年度研修を実施し、平成22年度までにバンコク、デリー、ハノイ、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、シンガポール、トムスクなどの各都市から延べ59名の研修生が受講しています。

平成22年度の研修の実施状況は、図表8-1のとおりです。

(3) 国際会議への参画

国土交通省及び海外の水環境関係機関などの主催する国際会議に、当局の職員も都の代表として参加し、技術、法制度などの面から意見の交換を行っています。平成22年度における国際会議の参加は図表8-2のとおりです。

(4) 海外からの訪問者及び技術研修員の受入れ

訪問希望者の直接申込みや、知事本局、外務省、J I C Aなどを通じての受入れ依頼によって来訪する訪問者等に対して、下水道事業に関する概要説明、施設・

現場見学説明を行っています。平成22年度の受入れは、194件54の国と地域、3,192名です。国別訪問者数は、図表8-3のとおりです。

(5) 国際機関などへの協力

JICAからの依頼により、当局職員を専門家として派遣し、下水道事業に対する助言と指導を行っています。

図表8-1 「下水道維持管理技術者研修」実施状況

(平成22年度)

コース	研修の概要	実施期間	受入れ人数	都市別内訳
短期	都の下水道施設の維持管理技術や下水道に関する先進技術について、講義及び施設見学を実施した。	22. 11. 15 ～ 22. 11. 19	3名	デリー 2名 トムスク 1名

図表8-2 下水道局参加国際会議

(平成22年度)

時期	国際会議及び団体名	場所	主催者	概要
22. 10. 1 ～ 22. 10. 6	第83回 WEF 年次総会	米国ルイジアナ州ニューオーリンズ市	WEF (米国水環境連盟)	毎年アメリカで開催される、水環境保全に関する国際会議である。(3名派遣)
22. 11. 4 ～ 22. 11. 6	日中首都圏水務技術検討会	中華人民共和国北京市	北京市水務局	日本の首都・東京と中国の首都・北京が、現在を含めてこれまでに直面した水問題とその解決策について情報を共有し、両大都市の水問題解決について議論する国際会議である。(1名派遣)
22. 11. 8 ～ 22. 11. 12	Water Korea 2010	韓国 一山市	大韓上下水道学会・韓国水環境学会・韓国上下水道協会	水に関する各国の政策制定者、水産業のリーダー、専門家、研究者、実務者等が一堂に会し、世界の水環境改善についての議論や最新技術を紹介する展示会などが行われる国際会議である。(1名派遣)

図表8-3 海外からの訪問者数内訳 (平成22年度)

国名	人数(人)
中国	1,666
韓国	551
タイ	123
マレーシア	71
台湾	65
シンガポール	34
インドネシア	31
モンゴル	30
ベトナム	27
バングラデシュ	26
その他(44の国と地域)	568